

令和4年度 第1回 みんなで支える森林づくり長野地域会議 概要

【日 時】令和4年8月22日（月）13時30分～15時30分

【場 所】県長野合同庁舎 504 会議室

【出席者】

<委 員>

渡辺隆一委員（座長）、相野律子委員(※)、込山晴美委員(※)、中島佐代子委員、
宮澤政徳委員(※)、和田浩夫委員（※Web参加）

<長野地域振興局>

三石林務課長、佐藤林務係長、高橋林産係長、武田普及係長、栗岩鳥獣対策専門員

<林務部>

坪井次長、南雲主任

【会議事項】

- (1) 森林づくり県民税活用事業（長野地域振興局分）の令和3年度実績・令和4年度実施予定について《会議資料1・2》
- (2) 森林づくり指針（次期）について《会議資料3》
- (3) その他

【意見等】

<会議事項（1）>

- ・《松くい虫枯損木利活用事業に関して》松くい虫枯損木について、伐倒後の利活用の仕方について更に工夫が必要ではないか。
- ・《みんなで支える里山整備事業（ライフライン等保全事業）に関して》危険木伐採について市町村事業であることは承知しているが、県道沿いでの実施であれば、道路管理者である建設事務所との連携により重点的な取り組みができないか。

<会議事項（2）>

- ・県産材を利用する上で、安定的な供給は大事。
- ・森林整備について大学生の就活ボランティア活動として募集してはどうか。森林に関心を持ってもらうことや、長野県の現状を知ってもらうきっかけにもなるのではないか。
- ・木は植えて育てて伐って使うというサイクルを逆に考え、使うこと（利用）を主体に、利用方法や目的に応じて木を植え育て伐るという考え方もあるのではないか。

- ・ 県産材の活用を身近に感じられるような取り組みが必要ではないか。
- ・ 次期森林づくり指針について、方向性の考え方はその通りと思う。
- ・ 林業に関わる従事者の確保が必要。林業で働く人がいないと何もできない。そのためには従事者の地位や所得の向上を目指すべきと考える。
- ・ 再造林、下刈りの経費負担について森林環境譲与税を充てられないか検討いただきたい。
- ・ 林業労働力の確保には、現場作業者の待遇改善が必要。
- ・ 林業災害に対しての安全対策が不十分な林業事業体も多いので、県からもっと指導いただきたい。
- ・ 森林づくり指針に関する記述の中にSDGs やゼロカーボン、脱プラに結び付ける内容がほしい。
- ・ 木材を「使ってもらおう」こと（県産材の活用）について、県民に関心や接点を持ってもらうことが重要。